

創業100周年、『メガネのフクダ』を支えてくださった お客様に、眼鏡と補聴器で感謝を示し、 未来を担う子供たちの視力支援にも取り組む

○眼鏡業界の技術者育成制度の構築に尽力してきた1924(大正13)年創業の眼鏡・補聴器販売店運営「株式会社メガネのフクダ」(代表取締役・福田吉美、大阪府岸和田市)が9月、創業100周年を迎えました。○「町の眼鏡屋」の休廃業が右肩上がりとなる中、節目に合わせて廃業も検討しましたが、代表の長男がジーユー渋谷店・店長などを経て家業に戻り、事業継承を決意。○お客様にこれまでの感謝を伝え、「100周年記念企画」を機に認知症予防の一つとされる補聴器や、子どもの視力低下問題への対応などを強化し、持続可能な店舗経営に挑みます。

□沿革□

- ・1924年9月 福田正男が岸和田市五軒屋町に眼鏡専門店「正和堂」(現在の本店)を開業。
- ・正男が20代で他界し、妻・満佐子が長女・タヅ子と店を経営。「福田正和堂眼鏡店」と改称。
- ・1950年「福田眼鏡店」と改名。
- ・1972年「メガネのフクダ」と改名。
- ・1989年 株式会社メガネのフクダ設立。
- ・1997年 7店目を展開。
- ・現在は岸和田市内で2店舗を運営。
- ・代表・吉美の母で、お客様に愛されたタヅ子が他界。従業員の高齢化も進み、「メガネのフクダ」は閉店を検討。そんな中、長男の福田吉孝は、歴史が途絶えるのを惜しみGUを退社し、事業継承を決意。



創業100周年を迎えた「メガネのフクダ」と、広報担当に着任した福田吉孝=大阪府岸和田市

◆今後の展開◆ 社会的課題への対応を事業の軸とし、 社会貢献と企業経営を両立させます

既存顧客(※3)への対応を大切にしつつ、創業100周年を記念した企画を展開。自社の販路開拓・ファンづくりと、社会的課題への対応の両立を目指します。

- ・ 治療用子ども眼鏡への対応を強化します。

〈事例〉10月10日の「目の愛護デー」に合わせ、近隣の認定こども園で弱視や眼鏡に関する啓発活動を行います。

- ・ 認知症対策として補聴器が重視されているのを発信します。

〈事例〉本年1月に認知症基本法が施行されたのを踏まえ、11月11日の「介護の日」にちなんだ補聴器の体験会を同10日、市内の老人ホームで開催します。

- ・ 交流サイト(SNS)にて、自社の取り組みの発信や検索エンジン最適化(SEO)なども注力します。

取材のご検討を何卒よろしくお願い申し上げます。

◆問い合わせ先◆ 株式会社メガネのフクダ 担当：福田 吉孝
電話 090-4498-0325 / メール yoshitaka.fukuda@megafuku.co.jp

「おばあちゃん子」の恩返し

メガネのフクダ・広報担当

福田吉孝のコメント

・私は「おばあちゃん子」でした。90歳近くまでカウンターに座り、お客様と談笑している姿を今でも鮮明に覚えています。

・そんな思い出の詰まった店の経営に誰よりも本気で取り組めるのは自分しかいないと考えた時、継がずに後悔はしたくないと考え、岸和田に戻ってきました。

・100年も支えてくださったお客様からの信頼を守り抜き、皆さまに誇れる会社であり続けたいと考えています。